

令和5年度 第1回学校運営協議会、
同学校関係者評価委員会、同校内コンプライアンス委員会記録

1 日時 令和5年6月20日(火) 午前9時30分から11時30分まで

2 場所 沼津視覚特別支援学校 会議室

3 出席者

(1) 外部委員

第五地区西連合自治会 事務局長

東部社会教育振興協議会

和太鼓・パーカッション奏者・本校卒業生

特定非営利活動法人ティンクル事務局

沼津ライオンズクラブ 第1副会長

三島市主任児童委員

本校PTA 3人

(2) 学校職員

校長、教頭、事務長、小学部主事、中学部主事、高等部主任

4 日程

校長あいさつ

校内参観

令和5年度学校経営方針について

本校の理解推進のための「発信」方法について

不祥事根絶に向けた本年度の取組について

学校への期待、要望等

5 会議報告

<御意見>

学校経営方針などについて

- ・キャリア教育については、校内の教育は当事者にとってもフィットしているが、一般社会はそうでない。外に出て行くことが前提の子どもたちが、一般社会とのギャップにつぶれてしまう人も多い。自分の障害と向き合いながら、自分が何をしたいのかを考え、自分から、一般の学校のことについて知りたいと思い、現状とのギャップを知ることが、のちの将来につながっていく。

- ・自主性、チャレンジ精神を学生のうちから培って欲しい。

本校の理解推進のための「発信」方法について

- ・自分の子の相談時、保健センターでは、本校についての情報を教えてもらえず、自分で調べて本校にたどり着いた。同じように困っている人がいるのではないかと感じた。
- ・視覚障害の他に肢体不自由も併せ持つ我が子のような子が学びやすい環境整備を希望する。肢体不自由特別支援学校では、視覚支援教育が十分に受けられない。本校にはエレベーターがつくとよい。
- ・居住地区では視覚障害者は我が子のみで住みにくい町と感じる。視覚支援特別支援



<会議の様子>

学校の存在を広く知ってもらえるとよい。点字ブロックの大切さなども地域の人たちに知ってもらいたい。先生方が理解推進活動をしてくださりありがたい。

- ・三島市の視覚障害者体験の参加児童の反応はとても楽しそうで、素直に覚え、家で伝えている様子がある。HPのURLなどを教えれば、自分で調べることもできる。白杖や点字ブロックの他、何が足りないか、家でも考えることにつながっていくのでは。
- ・就職については、大手企業のキャリア教育の会などで、企業にパンフレットを配るなどできるのではないか。
- ・本校の教育相談の情報にたどり着くのはとても大変と感じる。民生委員などのあまり変わらない立場の人にもっとアプローチしてもよいのでは。
- ・ライオンズクラブではラジオ番組で当事者が話す取組はとてもよかった。高校の福祉クラブなどに働きかけ、視覚支援につながるように、文化祭などでゲーム的なことを通してPRするのもよい。
- ・本校のHP等のQRコードを各団体に配るとよいのでは。
- ・第五地区の地域学校協働本部で学校の要望に応じていきたい。高齢者の居場所作り、子どもの居場所作りなど、双方の情報交換ができるとよい。HPは見る人が多くないので、実践を通して周知していきたい。
- ・居場所の数が多いほど、自己肯定感が培われる。相談できる人を増やしていけるとよい。

不祥事根絶におけた今年度の取組

- ・不祥事根絶におけた本校独自の教職員心得チェック内容を昨年度末に改定し今年度実施予定。チェック項目の紹介。年度末に結果報告する。